

菅野 典雄

前飯館村長

昭和 21 年（1946）、飯館村生まれ。
帯広畜産大学卒業。酪農を営みながら嘱託公民館長を経て
1996 年 10 月から飯館村長を 6 期 24 年務める。
2020 年 10 月 26 日、村長を引退。

「ままでいライフの村づくり」。手間暇を惜しまず、
相手を気遣う心を大切に飯館村の村づくりを進めてきました。
震災と原発事故が起きたのは、そんなさなか、村長 4 期目の年。
2011 年 4 月 22 日、計画的避難区域に指定され、全村民の避難を余儀なくされました。
放射能のリスクと生活の変化によるリスクを考え、村民の 9 割の避難先を、村から
車で 1 時間以内の所に求めました。それによって多くの課題について村民と
本音の話ができる環境が出来ました。いざ有事の時はバランス感覚が必要です。
私たちは理不尽な状況におかれた被害者ですが、「この村を復興させる」という
ことでは国も同じ目標です。文句を言いたい気持ちを抑え、「被害者と加害者」
という構図から、お互いの立場を理解し、提案し合いながら、村民にとって
プラスのことや復興のための手立てを次々と打ち出してきました。
2017 年 3 月、村内 20 地区のうち 19 地区が避難解除になり、2021 年は
第 6 次総合振興計画がスタート。長泥地区は^{ながじろ}はまだ帰還困難区域指定ですが、
環境再生事業でこれから良くなっていきます。
相手を思い、心をつかち合う「心のシェア」を大切に、
成熟社会の視点で考える村に、そして社会になることを願っています。



震災後、機会あるごとに「ままでい」を紹介してきた